

はじめまして。子どものこころ診療センター臨床心理士からの報告です。

***ごあいさつ**

この度初めてホームページを更新させていただきます。子どものこころ診療センターの臨床心理士です。今後、僭越ながら当センターのホームページの片隅をお借りして、心理士の活動報告をさせていただきますと思います。

***第36回小児心身医学会学術集会に参加させていただきました**

2018年9月7~9日に開催されました第36回小児心身医学会学術集会では、当センター教授 作田亮一先生が大会長でした。当センターの心理士一同、運営及び発表に参加させていただきました。一般演題発表では、3名が以下の演題にて発表しました。

- 「摂食障害患者の対人関係における基本的構えと摂食障害傾向の関連」(黒岩千枝)
- 「文章完成法(SCT)からみた思春期神経性やせ症の心的特徴」(岩波純平)
- 「中学生生活習慣とBMI-SDSに及ぼす要因の検討ー健常児を対象とした探索的調査ー」(吉田有希)

また昨年度、黒岩が第35回小児心身医学会学術集会において最優秀演題賞に選出頂いたため、会員総会において優秀演題発表をさせていただきました。



(「小児摂食障害患者の性格特徴と親子関係についてー母子のエゴグラムの検討ー」)

学会を通じて、とても貴重な機会をいただきましたこと、感謝申し上げます。

・・・そして。今後より一層、研究に力を入れよう！と、改めて感じられた学会となりました。